



来年の自分を思い描こう

いよいよ明日から夏休みです。夏休みに入るとすぐに、これまでの学校生活とテストの結果、それに加えて進路学習会後に行った進路希望調査を基に、進路相談を中心とした三者面談を行います。

進路学習会でも伝えたように、進路希望調査には『行ける高校』ではなく『行きたい高校』を書いてもらったと思いますので、三者面談ではみなさんが希望する高校に合格するには、どれだけの努力が必要なのかを生活・学習の両面で伝えていきたいと思っています。もしかしたら、今の自分の実力が行きたい高校の合格ラインに足りていないと感ずることがあるかもしれません。しかし、そこで諦めるのではなく、何をどのように努力すればいいのかを担任の先生や保護者の方と一緒に考えるための三者面談なので、これからの努力点を明確にして、夏休みの過ごし方を考えてほしいと思います。

まずは、来年4月の自分の姿を具体的に思い描いてみましょう。その姿を『憧れ』にしてしまわない努力を行うのが、中学3年生の夏休みなのです。

体験入学へ行こう！

毎日のように、多くの高校のパンフレットやチラシが配付されていますが、すべてに目を通して見せていますか？そして、保護者の方に見せていますか？何より、興味がある高校の体験入学に申し込みをしていますか？

高校体験の申し込みは、私立高校の場合、それぞれの学校のホームページから個人で申し込みを行うようになってきました。また、公立高校についても、今のところ筑紫中央高校・武蔵台高校・福岡中央高校だけが中学校を通しての申し込みになっていて、そのほかの公立高校は私立高校と同様に、高校のホームページから個人で申し込みを行うようになってきました。

気を付けてほしいのは、私立高校の体験入学は複数回行われる(進路学習会の資料参照)のに対して、公立高校は1回しか体験入学が行われないということです。また、太宰府高校の芸術科や筑陽学園のデザイン科などの芸術系の高校や学科への進学を考えている場合、それぞれの学校で行われる技術講習に参加する必要があります。夏休みが終わると時間に余裕がなくなることが予想されます。早い時期に申し込みをしておくといでしょう。

夏休みの過ごし方

これまでであれば、事故や健康に気を付けて過ごし、前期後半開始日に全員が元気な姿を見せてくれることだけをお願いしていましたが、今年の夏休みはそういうわけにはいきません。なぜなら、中学3年の夏休みこそが受験に向けての正念場だからです。

正念場とは、歌舞伎や浄瑠璃などで、主人公がその役の本質的性格を発揮させる最も重要な場面のことで、転じて『その人の真価を問われる大事な場面。重要な局面。』という意味で使われる言葉です。つまり、みなさんにとって受験生として大事なときが、今年の夏休みということなのです。

受験生だからといって、無理をして塾の夏季講習に申し込んだり連日寝る時間を削って勉強したりする必要はありません。まずは、夏の生活や各教科から出された宿題にしっかり取り組みましょう。そして、解けなかったり間違ったりした問題について、解説や教科書を読んで解きなおしをしましょう。大事なことは、宿題の提出日を目的にしないことです。提出日を守るだけのために、答えを写して提出しても時間の無駄です。せっかく教科の先生方が皆さんの力をつけるために出した宿題です。自分の理解が少しでも深まるような使い方と工夫をしてください。



保護者のみなさまへ

ほとんどの部活動が最後の大会を終え、大会を終えた子どもたちは部活動を引退しました。

最後の大会では、これまでの頑張りを十分に発揮できた生徒も、思ったように力が出せずに悔しい思いをした生徒もいたようですが、大会後の学校での表情は、一様にやり遂げた感を醸し出していたようでした。そんな子供たちの様子を見ることができたのは、保護者の皆様が多様な場面で子どもたちを支えてくださったからだと感じています。朝練の送り出しから、土日のお弁当の準備や練習試合の送迎と、入学以来2年3ヶ月の間、お忙しい中子どもたちのご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

さて、部活動のない夏休みが始まります。これまでの夏休みと違って部活動がないと時間に制約がなくなり、意外と子どもたちは一日のサイクルを整えることに苦労するようです。そんな子どもたちの時間の過ごし方を有意義にするためにも、ご家庭で一日の振り返りをさせていただきたいと思っています。計画を立てるよりも、今日一日の時間の使い方を振り返ったほうが、自主的に時間の使い方になるものです。誰にでも平等にある時間を、有意義に使えるようにご家庭でもご指導と助言をお願いいたします。